

書 明 證 認 理 亡 死

陸海軍

者 供 提 料 資		者		亡		死		開戦時の住所 (在留地)		本籍地		区分		猪病時期		猪病場所		死亡区分		死亡日時		死亡場所		死亡事由 (傷病名)		遺骨及び遺物の処理		遺留品の処		戦死直後の情報に依る。 氏名、死体を確認した と云う民間義勇隊員の報告。 テニアン島未軍キマン抑留中。 此の戦死は確認され葬儀を執行。	
法方たつ知を亡死		親密な知人		※		※		※		※		※		※		※		※		※		※		※		※		※		※	
係関のと者亡死		親密な知人		※		※		※		※		※		※		※		※		※		※		※		※		※		※	
所住現		所住現		※		※		※		※		※		※		※		※		※		※		※		※		※		※	
所屬		所屬		※		※		※		※		※		※		※		※		※		※		※		※		※		※	
職域		職域		※		※		※		※		※		※		※		※		※		※		※		※		※		※	
名氏		名氏		※		※		※		※		※		※		※		※		※		※		※		※		※		※	
教諭		教諭		※		※		※		※		※		※		※		※		※		※		※		※		※		※	
年 月 日 生		年 月 日 生		※		※		※		※		※		※		※		※		※		※		※		※		※		※	
女		女		※		※		※		※		※		※		※		※		※		※		※		※		※		※	

死亡当時の状況及び参考資料
昭和九年六月十一日より米國艦隊の包圍攻撃を受け、同島在留の民間男子六千名は義勇隊に編成され、聯隊の指揮下に入り、飛行場の整備、砲弾食糧の確保、運搬等に従事したが、七月廿四日以降の米軍上陸作戦に對しては陸軍警備隊と共に猛烈果敢な戦闘を展開した。氏し辛先挺身し、遂に八月二日午後五時、カロリナス山中に於いて聯隊本部と砕のころ、砲弾命中して戦死されたのである。

書 明 証 認 現 確 亡 死

邦・海・陸

資 料 提 供 者		死 亡 者										死							
死 亡 知 っ た 方 法		遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理		諸 亡 死 亡 場 所		死 亡 日 時		死 亡 区 分		発 病 場 所		発 病 時 期		区 分		本 籍 地		開 戦 時 の 住 所 (在 留 地)	
テニアン島のオセロ島に 係り、手紙より遺骨を 受け、		現地に埋葬		テニアン島カウリス		昭和十九年八月三日		戦死						内		[Redacted]		テニアン島 カウリス	
死 亡 者 と の 関 係		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]	
現 住 所		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]	
所 属 部 隊 (職 名)		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]	
階 級 (名 氏)		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]	
守 留 担 当 者		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]	
死亡当時の状況及び参考資料		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]	
統 柄 (長 男)		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]	
時 刻 (階 級 名 氏)		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]	
名 氏		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]	
年 月 日 生		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]	
性 別		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]	

裏面記載上の注意を見ておいて下さい。(※及び裏面の各欄は記載に及びません)



現認証明書

本籍地

死亡當時

氏名及続柄

職業

氏名性別

南洋群島ニアニ島

戸主

耕作者

[Redacted]

女

[Redacted] 年 [Redacted] 月 [Redacted] 日生

右、者昭和拾九年八月参日 午前 拾時 分 艦 砲

ニ因リ死亡セル所現認証明ハ當時本人ト行動ヲ共ニシ右ノ

事實ニ誤ナキコトヲ現認ス

昭和三十三年九月十七日

本籍地

現住所

職業

右現認証明人氏名

[Redacted] 年 [Redacted] 月 [Redacted] 日生



本字付原本ニ相違ナシニ証明スル
鹿児島県民生活労働部接獲課長



鹿児島県世話課

No 1157

43880

本籍地
元
氏
名
加
吉

現任所
同

所屬部隊
第四號輸送艦

入隊日
昭和八年八月十日

階級
現
後
兵
科

功績
昭和九年七月十九日
横須賀港 疏勇賞

同隊員
昭和九年八月四日

昭和九年八月四日
腹朝陣片創

昭和十九年八月四日
又馬神

昭和十九年八月四日
又馬神

昭和十九年八月四日
又馬神

昭和十九年八月四日
又馬神

昭和十九年八月四日
又馬神

昭和二十一年十月三日

本籍地

言

人字...

右

現 役 兵 料

入...

瀬須賀 磯島

見... 勤務... 同日... 兵... 料...

因前... 金... 高... 地... 費... 人... 具...

三... 父島沖

三... 日

美

本... 前... 報... 未... 報... 及... 公... 報... 既... 思... 科... 行... 及... 公... 報... 既... 思... 科... 行... 及... 公... 報...

急... 送... 処... 理... 不... 下...

事勢方官

月... 日

理任所	同	如
所属部隊	第四師團	官年
氏名	[Redacted]	一水
		入部者

備考

- (一) 本圖書、何所書スハ、既知者ニテ、其ノ事ハ、本圖書ノ下ニ記入スルニ可キナリ。
- (二) 兵務任所、行務士官等ニ記入スルニ可キナリ。
- (三) 同府縣人、勿論作爲身者、其ノ事ハ、本圖書ニ記入ス。
- (四) 知所シラレ範圍ニ於テ、其ノ事ハ、本圖書ニ記入ス。
- (五) 他人ヨリタテテ承知シラレ事柄、其ノ事ハ、本圖書ニ記入ス。

軍人現況不明者調書

<p>整理番號</p>		<p>所 (辭令年月日) 籍</p> <p>九三一一 九七〇</p>		<p>留守擔當者</p> <p>氏名</p>		<p>家族の承知してゐる情況</p>		<p>差出日附 () 部隊符號 () 受領年月日 () 檢閱者印 ()</p>		<p>本人からの最後の通</p> <p>信</p> <p>宇野山崎 砲兵</p>		<p>内地出發年月日、場所、乗船名(又は航空機)行先</p> <p>加取航空基地ヨリ南方へ 昭二九・二・二五</p>		<p>(一) 部隊長から何か通知があつたか</p>	
<p>等級</p> <p>氏名</p> <p>生年月日</p> <p>入籍番號</p> <p>本現住所</p> <p>地所</p>		<p>氏名</p> <p>父</p> <p>氏名</p> <p>住所</p>		<p>歸還者からの情報</p> <p>提供年月日</p> <p>情報提供者</p> <p>同右現住所</p> <p>部隊等級氏名</p> <p>入籍番號</p>		<p>(一) 本人とは何處で何時迄一絡だつたか (二) 其の時の本人の情況 (三) 同部隊名</p> <p>昭和十九年八月十日南洋群島方面ニ於テ戦友は斃死せり セリ戦友なり 部隊</p>		<p>共</p> <p>戦死</p> <p>年月日</p> <p>場所</p>							

5711

<p>資料及所見</p> <p>20 4 24</p>	<p>世話</p>	<p>其の他説明上参考となるべき事項</p>	<p>家族波受領の情況及取扱経理部</p>	<p>(二) 暗通者から何か通知があつたか</p> <p>(三) 其の他のところから何か通知があつたか</p> <p>(右通知した人の住所氏名)</p>
<p>20 4 24</p> <p>2063</p> <p>11/10</p>		<p>其の他説明上参考となるべき事項</p>	<p>昭和二十一年八月一日又は其の後に未復員箱を出したか出してなければその理由</p> <p>届ナシ 其後にはなし</p>	<p>ナシ</p>

後の本人の消息

<p>其の他説明上参考となるべき事項</p>	<p>本人の消息をよくしつてゐると思はれる者の住所氏名</p>	<p>作犯 隊犯 乗犯 作犯</p> <p>收客年 月 日</p> <p>收客場</p>	<p>行逃 方逃 不明 者逃</p> <p>原月日 年 月 日</p> <p>事故 場所</p>
<p>其の他説明上参考となるべき事項</p>	<p>本人の消息をよくしつてゐると思はれる者の住所氏名</p>	<p>作犯 隊犯 乗犯 作犯</p> <p>收客年 月 日</p> <p>收客場</p>	<p>行逃 方逃 不明 者逃</p> <p>原月日 年 月 日</p> <p>事故 場所</p>

死 亡 現 認 證 明 書

陸 邦 (印)

寫

資 料 提 供 者 死 亡 知 っ た 方 去	者		亡			死								
	遺留品の処理	遺骨及び遺骸の処理	元(死亡事由(傷病名))	諸死亡場所	亡死亡日時	死死亡区分	疾病場所	疾病時期	区分	本籍地	開戦時の住所(在留地)	領域名	部隊又は職	所屬(所轄)
			貫通銃創を受了即死	南洋群島ヤロリヌス	昭和十九年八月十五日午後六時	※ 戦死			内			五根	五根隊地隊	固
関係のと者亡死	友人													
所住現	[Redacted]													
種兵	重属													
種役	[Redacted]													
死亡當時の状況及び参考資料	昭和十九年八月十五日未明米軍陸戦隊の包圍攻撃を受了したため、ニアアン島守備隊と協力、交戦中、胸部に貫通銃創を受け即死す。													
者当担留守留名氏 所住現	[Redacted]													
統柄 (印)	[Redacted]													
死階の時亡死 (職名職は又)	[Redacted]													
名 氏	[Redacted]													
年 月 日生	[Redacted]													
女 男	男													

現認證明書

本籍地

死亡時

位所

氏名性別

生年月日

戸主氏名

及続柄

職業

死亡場所

右之者昭和十九年八月廿三日午後二時半頃米軍艦砲に因り死亡
せる所現認証明は当時本人と行跡を共にし右の事實に誤り
なき事を証明致します

昭和二十九年七月十七日

右現認者

本籍地

前住地

南洋群島大宮島北村

海軍少尉

戸主

本人

男

年 月 日

（取覽）一名〇〇〇

職中十九年八月五日
午後上時決

死に送るは成り
敵の傳小取東傳に居り
其の故は...

昭和三年一月五日

口入籍番種
島入籍地
水長

者頭佐新
如

飛船撃撃隊 (日鴨丸乗組)

梅芳

一五調書付元之西の亦上原原一切を處理す
惟重なる其詳解に其入も之下二

二他人の事處に原知に其事項は其の首末尾余自記

三取調書付元之西の亦上原原一切を處理す

徳

元海軍少人現況不明者調書

徳島縣世話課第六復員係

徳島縣世話課第六復員係

番號	階級	氏名	生	死	入籍	籍	地
43	二水	[REDACTED]	昭和三年	昭和三年	入籍	本籍	徳島

お尋ねする 事柄

返事を答へて戴く所

昭和三十九年四月五日

昭和三十九年四月五日

昭和三十九年四月五日

昭和三十九年四月五日

昭和三十九年四月五日

昭和三十九年四月五日

昭和三十九年四月五日

昭和三十九年四月五日

昭和三十九年四月五日

昭和三十九年四月五日

昭和三十九年四月五日

昭和三十九年四月五日

昭和三十九年四月五日

昭和三十九年四月五日

92-15

右島津を討つに足らぬ人の数
名別し五百以下に
○

徳川後援使の命に依りて
御主人の御命に依りて
御主人の御命に依りて

御主人の御命に依りて
御主人の御命に依りて
御主人の御命に依りて

御主人の御命に依りて
御主人の御命に依りて
御主人の御命に依りて

世計録入手資料及所見
五五調査書内

昭和三十九年九月
下島津島津重豪
御主人の御命に依りて

22/10

保原復興局金部
四、五回
保原復興局生

何れ有りませぬ
保原復興局生

御主人の御命に依りて
御主人の御命に依りて
御主人の御命に依りて

右の同ジ

昭和三十九年
十月五日

の提供に依り

19.8.15日 千島梅

下再四会

12/11

書明證認現亡死

邦海陸



者供提証資		者亡死										者当担守留			
法方たつ知を亡死		遺留品の処	遺骨及び遺骸の処理	元死亡事由(傷病名)	諸死亡場所	亡死亡日時	死死亡区分	発病場所	発病時期	区分	本籍地	(在留地)	開戦時の住所	種兵種役	
確証				受傷部不明(艦砲射撃)	南洋着島	昭和19年8月16日	※戦死							軍馬軍	
保開のと者亡死				不明(艦砲射撃)	アノ島									級階の時亡死(異名は又)	
郷				不明	アノ島									属此	
(職部所) (城隊轄) (域隊属)		所住現												名	氏
氏		氏												年	月
														日生	
														女	(男)
				死亡当時の状況及び参考資料 18年8月頃まで海軍の飛行場設置工事に助力した。19年春頃より飛行場の設置に従事した。飛行場の艦砲射撃を始り飛行場に着陸し隊中一帯が集中して居た。故に隊はアノ島の二ノ涌水の川附近に移動し修期中のとき砲弾落下し本隊機庫に吹程された。艦砲射撃終了後アノ島附近に移動しみることとなり行方不明に陥り現在不明な。								者当担守留			
												名氏		所住現	

裏面記載上の注意を御見下(※及び裏面の各欄は記載に及びません)

死亡證明書



資材提供者		死者							死												
法方たつ知を亡死 塚に待避中の自分 達で埋葬した		遺留品の処 理	遺骨及び遺 骸の処理	元 (死亡事由 (備病名))	諸 死亡場所	亡 死亡日時	死 死亡区分	発病場所	発病時期	区 分	本籍地	(開戦時の住所 (在留地))	姓名	郵便文区 番号	原居(所) 都府支庁 郡市	氏名	性別	年齢	出生年月日	性別	
係関のと者亡死 人等知 る				船砲 死	カヒ 船行場(津波行場)	昭和十九年七月二十五日	戦 死			内			五 根	風所部	海防隊						
所住現 社員				※甲	※甲	※甲	※甲	※	※	答			兵								
(名職)級階 名氏		死亡当時の状況及び参考資料 勤務中昭和十九年四月五日根馬託を 命じられカヒ船行場整備作業に従 事していたが昭和十九年七月二十五日(午前) 大軍の艦砲射撃により同船行場附近の 防壁に待避中の同人は下りた水を呑 み、壕外に落下し艦砲弾落下即死 したと見られる。死の時は一人(名)のみ であった。死の場所附近に埋葬したと である。										守留 所住現 本籍地に同レ		氏名 年 月 日生		性別					